

一般社団法人岐阜県老人福祉施設協議会

令和5年度 事業計画

【事業方針】

岐阜県老人福祉施設協議会は、会員の皆様のご理解・ご協力を得て、昨年4月に一般社団法人化し1周年を迎えます。その間、県社協に委託していた事務を法人として軌道に乗せるとともに、県からの新たな委託事業の着実な実施、「人材確保と育成・定着」「感染症を含む災害時等の法人間の連携」など従来からの課題に対して、試行錯誤を重ねながら取り組んで参りました。

また、新型コロナウイルス感染症対策に加え、エネルギー価格をはじめ、食料料費等の物価高騰が会員施設の運営に甚大な影響を及ぼし、経営努力のみでは対応できない危機的な状況を踏まえ、本会は全国老人福祉施設協議会や他団体と連携して県に財政的支援の要望を行い、支援金の予算化が実現しました。

今年度は、一般社団法人2年目として、社会的信用を更に高めると共に、組織基盤強化を図り、安定した法人運営を実現し、地域や会員の皆様から一層の信頼を得ながら、県の高齢者福祉施策の一端を担って参ります。

また、引き続き、高齢者福祉を取り巻く課題に取り組むと共に、会員施設との情報共有、健全な施設運営の支援に努め、会員が安定して社会貢献できるよう、全国老人福祉施設協議会や自治体と連携して、会員の利益に供する事業を積極的に展開して参ります。

最後に、令和5年11月29日・30日に岐阜県において第2回全国老人福祉施設大会・研究会議が開催されます。会員一同力を合わせて、全国の皆様に岐阜県らしさを発揮した「おもてなし」ができるようご協力をお願いします。

1 各種会議の開催

(1) 社員総会

【定時】 令和5年5月25日(木)

会場 岐阜県福祉・農業会館 2階大会議室

協議事項

- ① 令和4年度事業報告(案)について
- ② 令和4年度収入・支出決算報告(案)について
- ③ その他

【臨時】 令和6年3月22日(金)

会場 岐阜県福祉・農業会館 2階大会議室

協議事項

- ① 令和5年度補正予算(案)について
- ② 令和6年度事業計画(案)について

- ③ 令和6年度収支予算(案)について
- ④ その他

(2) 理事会(通常・臨時)

【第1回】 令和5年5月15日(月)

会場 岐阜県福祉・農業会館 6階研修室

協議事項

- ① 令和4年度事業報告(案)について
- ② 令和4年度収入・支出決算報告(案)について
- ③ その他

【第2回】 令和5年9月20日(水)

会場 岐阜県福祉・農業会館 6階研修室

【第3回】 令和5年12月20日(水)

会場 岐阜県福祉・農業会館 6階研修室

【第4回】 令和6年3月13日(水)

会場 岐阜県福祉・農業会館 6階研修室

協議事項

- ① 令和5年度補正予算(案)について
- ② 令和6年度事業計画(案)について
- ③ 令和6年度収支予算(案)について
- ④ その他

(3) 常任理事会(正副会長会議)

毎月開催(原則 毎月第1月曜日)

会場 岐阜県福祉・農業会館 事務局内

(4) 監事会

令和5年5月

会場 岐阜県福祉・農業会館 事務局内

監査事項

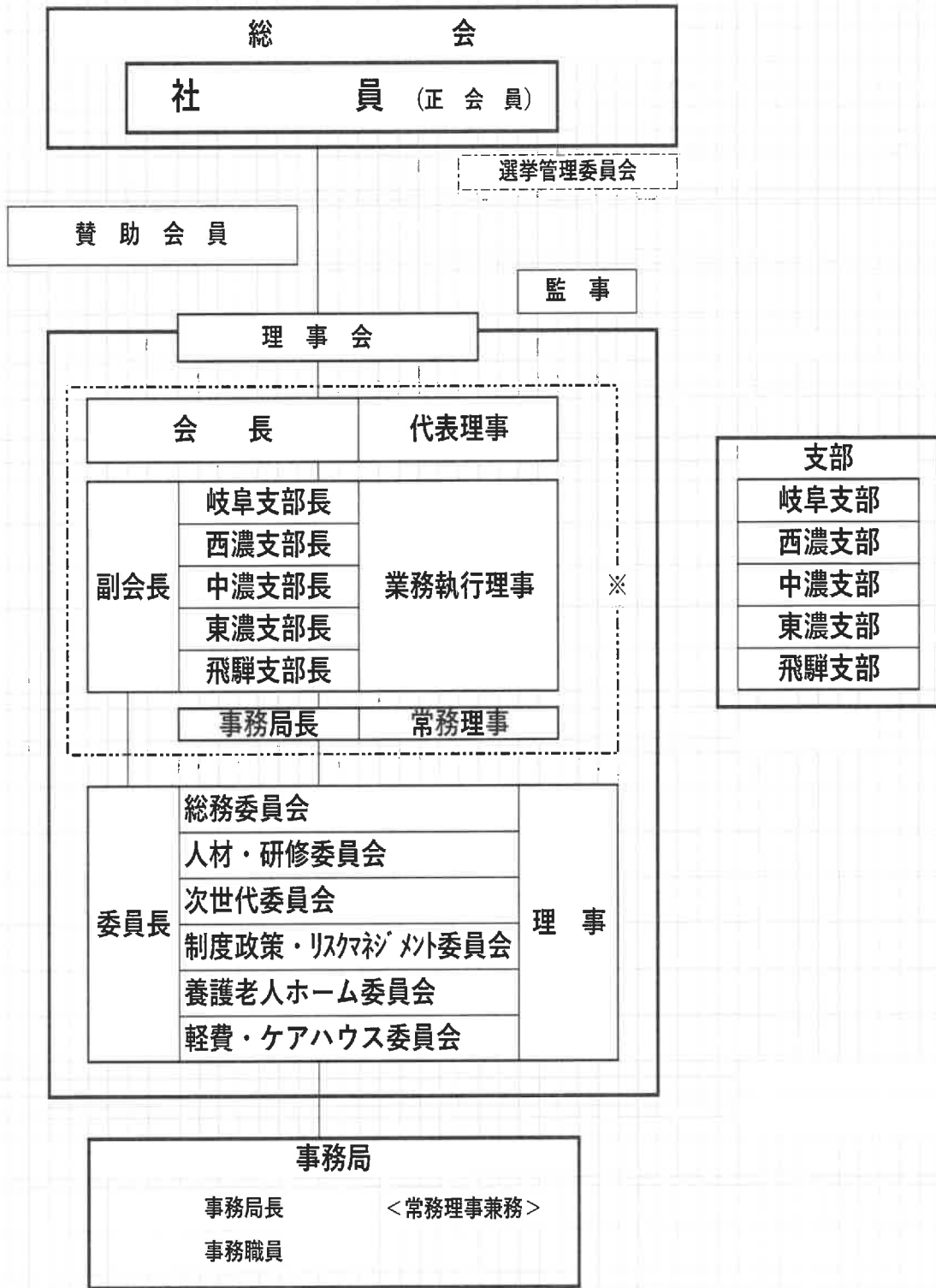
- ① 令和4年度事業報告(案)について
- ② 令和4年度収入・支出決算報告(案)について
- ③ その他

2 委員会活動

常設委員会を組織図のとおり改編

※各委員会の事業計画は別紙のとおり

【 一般社団法人 岐阜県老人福祉施設協議会 組織図 】



※は正副会長会議(本会では常任理事会と称する)

3 調査・研修

- (1) 適宜、特別委員会等を設置し、必要な活動を実施
- (2) 企画研修事業については、タイムリーな内容で会員以外の参加も可能とする

4 広報活動

- (1) ホームページの運営による会員イベント、各種情報の発信
- (2) 県補助・受託事業等を活用した介護人材の確保・定着・支援等の情報の発信
- (3) 岐阜県事業(ぎふ福祉の魅力知らせ隊等)への協力
- (4) 県社協事業(福祉のお仕事体験フェスタ等)への協力

5 対外活動

- (1) 県健康福祉部幹部職員と本会役員との意見交換会の定期開催
- (2) 各種要望活動の実施

6 組織強化

- (1) 全国老施協と連携した未加入施設等への会員加入促進事業の実施
- (2) 委員会活動、支部活動の不断の見直し
- (3) 賛助会員の加入促進

7 災害派遣福祉チームへの協力

- (1) 全国老人福祉施設協議会災害派遣福祉チーム(全国老施協 DWAT)への参画
- (2) 岐阜県災害福祉広域支援ネットワーク協議会への参画による岐阜県災害派遣福祉チーム(岐阜DWAT)隊員への登録及び研修・訓練実施への協力。
 - ・全国老施協 DWAT 隊員登録 61名(令和5年3月現在)
 - ・岐阜 DWAT 隊員登録 94名(令和4年9月現在・県251名)

8 コロナ感染症対策

新型コロナウイルス感染症発生時の施設間相互支援に関する調整業務(感染症発生時での対応、登録施設勧誘等)を岐阜県(高齢福祉課)より受託実施。

9 介護人材等の確保対策

外国人を含む介護人材の確保のため、県補助事業や委託事業(介護人材参入促進事業、外国人介護人材マッチング支援事業等)を有効に活用して、新規職員の確保、育成、定着のための各種事業を積極的に実施。

10 ブロック・全国大会等の開催・参加

- (1) 第2回全国老人福祉施設大会・研究会議 ～JSフェスティバル in 岐阜～
 - ・開催日:令和5年11月29日～30日/会場:長良川国際会議場外
- (2) 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(愛知名古屋大会)
 - ・開催日:令和5年10月17日～18日/会場:愛知県産業労働センター
- (3) 東海北陸ブロック老施協正副会長会議(担当:愛知県)

令和5年度
委員会事業計画

総務委員会

人材・研修委員会

次世代委員会

制度政策・リスクマネジメント委員会

養護老人ホーム委員会

軽費・ケアハウス委員会

総務委員会 令和5年度事業計画

1 活動方針

一般社団法人岐阜県老人福祉施設協議会の安定的な運営のため、諸課題の検討、現行制度に対する不断の見直しの他、組織体制の強化、入会促進、予算・決算管理、会員メリットの供与、支部活動の活性化、事業の進捗管理を行う。

2 事業計画

(1) 組織体制の強化、活性化

- ・委員会活動についての検討
- ・支部活動についての検討
- ・事務局体制についての検討
- ・予算・決算等財務体質についての検討

(2) 入会促進活動

- ・全国老協と連携した正会員入会活動
- ・賛助会員の勧誘
- ・会員メリットの見える化

(3) 事業の進捗等管理

- ・事業の効率的実施の検討
- ・事業の費用対効果の検証

3 委員会の開催計画

(1) 定期会議

- ・令和5年 4月 課題の抽出、重点事業の決定
- ・令和5年10月 上半期実施事業の検証
- ・令和6年 2月 次年度事業計画の策定

(2) 臨時会議

- ・委員長の招集により随時開催

令和5年度 人材・研修委員会 事業計画

1. 活動方針

「福祉人材の確保及び定着の支援」及び「会員施設職員の資質向上に必要な研究及び研修会の実施」を主に担う委員会組織として、その目標達成に向けて下記のとおり事業を実施する。

2. 事業計画

1) 委員会の開催

第1回 令和5年4月(予定) 目的共有、委員紹介、事業計画確認、担当決定 など

第2回 令和6年2月(予定) 進捗確認、振り返り、来年度計画検討 など

2) 介護人材キャリアパス支援事業(県より補助)

① 初任職員研修(令和 年 月)

② 中堅職員研修(令和 年 月)

③ 管理監督者研修(令和 年 月)

3) 介護保険施設事故等防止対策推進事業(県より受託)

① 事故防止研修:現場職員向け(令和 年 月)

② 事故防止研修:管理職向け(令和 年 月)

4) 喀痰吸引研修事業

年1回開催(令和 年 月～令和 年 月までの間)

令和5年度は実技のみ開催する。

なお、第1号及び第2号研修を希望する施設に対しては、研修実施機関等の情報提供を行う。

5) 感染対策事業

第5類へ移行後の施設対応と対応モデル(案)の検討、マニュアルの見直し(案)

6) 介護人材参入促進事業(県より補助)

① 介護の魅力を伝え、興味を持っていただけるよう広報・イベントの企画実行

② 学生、主婦、シニア世代をはじめ多様な人材層に対しアプローチし、介護業界の人材確保ができるよう介護業界での働き方の広報や提案等を行う。

※なお、同事業に関しては、「次世代委員会」と協力し事業実施。

7)外国人介護職員受け入れ推進事業

外国人介護職員の受け入れ及び育成の課題について検討

3. 情報提供

- 1)協賛企業主催の各種研修及びセミナーの案内
- 2)実施した研修で使用した資料や研修後アンケートの公開

令和5年度事業計画 次世代委員会

【活動方針】

「現場重視」を基本姿勢とし、斬新な発想で現場を牽引、革新していける「次世代を担うリーダーの育成」を目指す。岐阜県内の会員施設・事業所に対してホームページを活用した情報発信や、会員とのネットワーク構築や岐阜県民に介護の魅力の発信を目指す。

高齢者福祉・介護業界への正しい理解とイメージ向上、岐阜県老施協の認知度向上を目的とした情報発信力の向上・強化等の広報戦略を展開していく。

今後急減する生産年齢人口と相対的な高齢者人口の伸びの需給ギャップに対応するため、「介護現場の革新」を具体的に推進するため、デジタル化が遅れている施設へのサービス支援を取組んでいく。

介護現場が直面する諸課題を踏まえ、エビデンスに基づき国への要望（全国老施協を通し）や岐阜県への提言等に努め、2040年問題に対応する。

会員にとって有益な情報を整理し、タイムリーに提供する。

○委員会の開催等

次世代委員会の開催	年5回
3役会議の開催	年2回

〈事業推進上の目標〉

I 次世代リーダーの人材育成の強化

- ① 介護・福祉の制度を理解していく人材
- ② 介護現場を改善、革新していく人材
- ③ 人材育成を指導していく人材
- ④ 地域活動を展開していく人材
- ⑤ 介護現場の魅力を発信していく人材

II ホームページの内容の強化

ホームページの内容の充実と更新状況の適宜把握に努めアクセス数の更なるアップを目指す。

- ① 特養等老人福祉施設検索システム構築・活用のための検討

III 第3回「介護フォトコンテスト」の実施

「介護の日」のみならず介護の魅力の普及に努める。

日常生活の様々な介護場面の中で、人と人が触れ合う魅力や素晴らしさなどを、写真

を通して、広く社会にアピールすることによって、福祉・介護現場の魅力を伝えることを目的に実施する。

IV 岐阜県老協協ロゴマークの検討

岐阜県老協協のコーポレートアイデンティティ（CI）について、名称の表記、先進性、普遍性、柔軟性、視認性ブランディングを考慮し検討を行う。

V 介護ロボット・ICT 機器導入に関する情報提供

介護ロボット・ICT 機器導入を検討している施設に対し、既に導入しているものの取組上の課題等を整理し、ホームページで公開し導入参考に活用する。

VI 介護人材参入促進事業

介護の魅力を伝え、興味を持っていただけるよう広報・イベントの企画実行
学生、主婦、シニア世代をはじめ多様な人材層に対しアプローチし、介護業界の人材確保ができるよう介護業界での働き方の広報や提案等を行う。
同事業に関しては、「人材・研修委員会」と協力し事業実施。

【令和5年度廃止する事業】

ハートミーティング事業

制度政策・リスクマネジメント委員会
令和5年度事業計画

1、 活動方針

社会福祉施設運営に際して施設が抱える課題の解決のために、新たな制度の策定及び事業の検討計画をする。

2、 課 題

<制度的活動>

- ① 全国一律規制からの緩和対策、地方事情の調査
- ② 行政指導に係る問題点の把握と対応

<政策的活動>

- ③ 予算対策陳情活動
- ④ 介護人材育成のための養成校・養成施設の発掘
- ⑤ 安心出来る公益性・地域性・独自性をもった施設活動の推進
- ⑥ 福祉連携推進法人（地域福祉支援・災害時支援・経営支援・人材確保・貸付・物資等供給の6事業）の模索・積極的推進

<連携活動>

- ⑦ 県及び県社会福祉協議会事業への参画
- ⑧ 県委託事業「外国人介護人材マッチング支援事業（老健協と合同）」による県内施設の需要情報収集、対象派遣団体の調査・確保、マッチングを実施し人材確保に寄与する。（研修委員会と協働）
- ⑨ 非常災害時等に施設間で連携できるシステムづくり

<調査活動>

- ⑩ 運営上のリスク他必要とされるもの状況・市場等調査そして対応

3、 会 議

・第1回 05年 5月

- 課題の分析、○課題の対処方法、○課題への取組着手
- 第2回全国老人福祉施設大会・研究会議（岐阜大会）について

・第2回 05年 9月

- 課題の取組状況の分析・対策
- 第2回全国老人福祉施設大会・研究会議（岐阜大会）について

・第3回 06年 2～3月

- 課題の対処状況の集計・分析 ○ 事業報告・事業計画の立案

岐阜県老人福祉施設協議会 養護老人ホーム委員会
令和5年度 事業計画

1、活動方針

養護老人ホームの使命である高齢者のセーフティネットとしての施設の役割を發揮するため、今後の養護老人ホームのあり方や制度の内容について最新の情報を収集するとともに、地域で必要とされる施設となるよう研究努力する。

コロナ禍での入所者の健康を守り、安全で安心した生活環境を整える。また、多様なニーズを持つ様々な入所者に対処するため、職員研修を充実することにより専門性の向上を図り、諸問題への適切な対応をめざす。

2、取り組む課題

- ① 身体・知的・精神的病弱者、被虐待者、生活困窮者、矯正施設退所者等様々な問題を抱える高齢者の積極的な受け入れ。
- ② 処遇困難者に対する適切な対応と幅広い専門的なソーシャルワーク機能の確立。
- ③ 自治体、地域包括支援センター等との連携強化と、契約入所の効果的な活用や自立準備ホーム等についての調査研究。
- ④ 全国老施協が実施する各種調査活動やアンケート等への協力。
- ⑤ 職員の職場環境と処遇改善に向けた取り組み。

3. 研修計画 【必要に応じ、Zoomを利用して実施する。】

◆ 第1回

- ・期 日 令和5年7月頃
- ・内 容 「日頃の諸問題と解決策について」
職種ごとの課題と対応について意見交換
- ・対象者 全職種

◆ 第2回

- ・期 日 令和5年9月頃
- ・内 容 新築養護老人ホームの視察研修
飛騨市『和光園』
- ・対象者 全職種

◆ 第3回

- ・期 日 令和5年11月頃
- ・内 容 「契約入所を含めた入所促進と今後の展開について」
意見交換
- ・対象者 施設長、相談員、事務職員 他

◆ 第4回

- ・期 日 令和6年2月頃
- ・内 容 「行政の求める養護老人ホームの役割と連携について」
講義と質疑応答・意見交換
- ・対象者 全職種

4. 委員会の開催 【必要に応じ、Zoomを利用して実施する。】

★ 第1回

- ・期 日 令和5年4～5月
- ・内 容 令和5年度事業の具体的な内容について 他

★ 第2回

- ・期 日 令和6年1～2月
- ・内 容 課題の掘り起こしと令和6年度事業計画等について 他

5. 施設長会議の開催 【必要に応じ、Zoomを利用して実施する。】

- ・内 容 養護老人ホーム運営上の諸問題について 他

軽費・ケアハウス委員会 令和5年度事業計画

1, 活動方針

軽費・ケアハウスの大きな役割は、要介護者や認知症患者、精神疾患患者、行き場のない人等、多様な生活課題を抱えた高齢者を支援することです。しかし、近年、サ高住等の介護保険外の居住サービスが増加したこと等により、厳しい競争にさらされることとなり、規模の小さい施設では、経営状況が極めて厳しくなっているところもあります。

さらに、令和2年度からのコロナ禍にあって、感染予防の徹底、外出行動等にも自粛を求められる等、職員のみならずご利用者にも、強い精神的負担が負担が強いられる状況が続いています。

また、コロナ禍の長期化、ウクライナ侵攻等による物価高騰等は、会員施設に対し極めて深刻かつ甚大な影響をもたらし、ますます厳しい経営を強いられる現状にあります。

このような状況のもと、当委員会では、軽費・ケアハウスの役割を再認識し、ご利用者様により充実した支援を提供できるよう、職員の資質向上を図ること、施設間での情報共有、情報交換及び課題解決に向けた調査研究を目的として委員会、研修会を開催します。

また、行政をはじめ関係機関との連携を密に保ちながら、必要に応じた要望活動、適切な意見具申、提言等を適時実践していきます。

2, 委員会開催

第1回軽費・ケアハウス委員会 令和5年7月開催

第2回軽費・ケアハウス委員会 令和6年1月開催

3, 研修会開催

職員全体研修会 令和5年8月開催

4, 行政への要望

岐阜県、岐阜市等関連機関に対し、以下について要望活動を実施する。

- ① コロナ禍の長期化、ウクライナ侵攻等による物価高騰に対応するため、岐阜県をはじめ関係市町村により、令和4年度においては、食材料費等負担軽減支援金、光熱費高騰対策支援金の支が決定された。令和5年度においても継続支援を要望する。
- ② 地方交付税算定における単位費用にの増額に応じた事務費の引上げについては、例年どおり要望する。
- ③ 老朽化が進む施設や設備の大規模改修等に対応する補助事業の拡充、創設を例年どおり要望する。

また、新たに対応すべき事案をはじめ、その他必要な案件等が生じた場合には、関係機関との十分な協議、議論を交わしたうえで、速やかにかつタイムリーな陳情活動や要望活動等を展開する。